

# 広報 しばた

# 2

2013 FEBRUARY  
No. 616 since 1961



元気な掛け声で  
鬼は～とと！  
福は～うち！！

みんなで  
泣き虫鬼・わがまま鬼・  
お寝坊鬼を退治したよ。

(船岡保育所の年長さんと花のまちイメージキャラクターはなみちゃん)

みんなで作ってよう

笑顔輝く元気な

「しばたっ子」

なぜ協働教育なの？

現代の社会や子どもを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。子どもの成長に欠かせない多様な仲間や保護者、教員以外の大人との関わりも減少傾向にあります。一方、家庭や地域、学校が抱える問題や課題を単独で解決することが難しい状況です。子どもの教育は、家庭や学校、地域行政が特技などを生かし、同じ立場で協力し合い取り組む「協働教育」が重要となってきました。

町教育委員会では、小中学生や保護者を対象に命の尊さや家族の絆など、家庭

教育に関する学習機会の提供や、安全・安心な子どもの居場所づくりを目的に地域住民との交流活動を行う「地域子ども教室事業」などを実施してきました。

この結果、子どもたちが学校だけでは身につけられないコミュニケーション能力が育まれるなど、事業の成果が出ています。

皆さんと共に協働教育を推進

現在、これまでの取り組みを踏まえ、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じて、家庭・地域の教育力の向上や学校教育の充実、

子どもたちの健全育成や地域住民のやりがいづくりにつなげることも目的とした「柴田町協働教育プラットフォーム事業」を展開しています。

事業の3つの柱

**家庭教育支援**  
親の学びや育ちを支える環境の整備

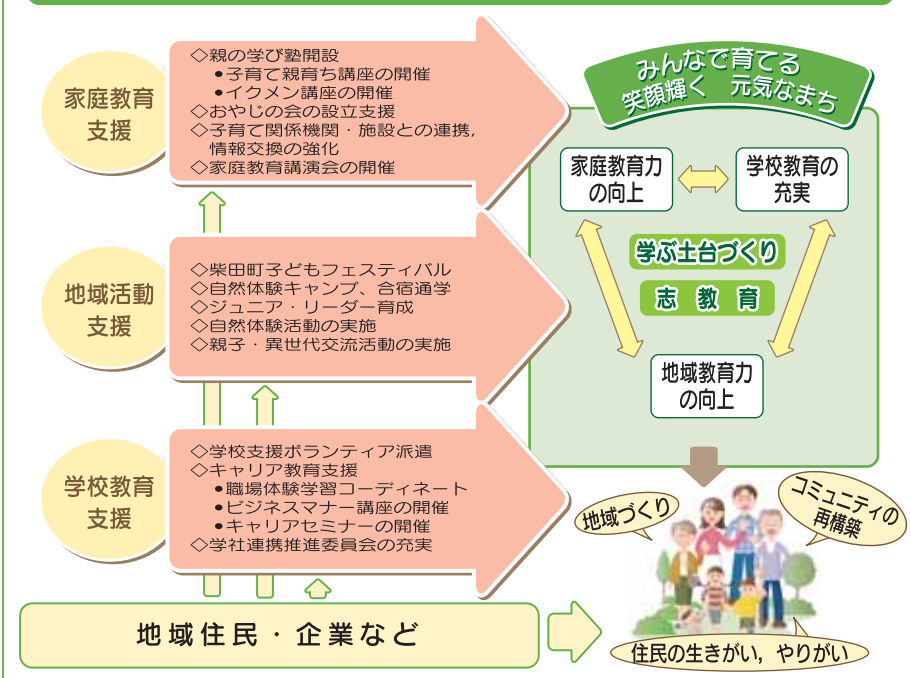
**地域活動支援**  
学校だけではできない体験の機会の提供

**学校教育支援**  
学校教育の充実と開かれた学校づくり



①子育て・親育ち講座 ②自然体験キャンプ ③キャリアセミナー

柴田町「協働教育プラットフォーム事業」構想図





# まちづくりは人づくり



## 水上さんご夫妻

昨年度は、ラベンダーの挿し木を生徒に教えました。今年度は、その生徒と咲いたラベンダーの花を使ってラベンダースティック作りをしました。

普段の生活では、子どもたちと接する機会がないため、この事業は子どもたちと話ができる貴重な機会になりました。



## 伊藤タイ子さん

東船岡小で読み聞かせと図書整理のボランティアをしています。

子どもたちのきらきら輝いた目が大好きで、子どもたちのことを「自分の孫」の様に思っています。

私と同じ様に、活動に関わってくださる方が増えてほしいと思います。

特に、おじいちゃん方に加わってほしいです。

## 学校教育支援参加者の「声」



## 家庭教育支援

子どもの「しつけ」など、保護者が学ぶ機会の提供や家庭教育に関する講演会などを行っています。「ピカイチイクメン講座」では、父と子による工作や料理をとおして、父親同士の交流を深めながら子育てについて楽しく学び、父親の積極的な育児参加を促しました。

## 地域活動支援

すでに町内では、さまざまなイベントが催され、子どもの健全育成に地域ぐるみで取り組んでいます。ジュニアリーダーの育成や自然体験キャンプ、わくわくチャレンジ合宿通学を催して、子どもの自主性や協調性、人を思いやる心を育てています。「子どもフェスティバル」では、子ども会育成会連絡協議会を中心に、町内6地区の小学生が、学区の枠を超えて自分たちで考えた手作りの遊びで交流をしました。



## 学校教育支援

「深めよう学校と地域の絆」をキャッチフレーズに、小中学校へ学校支援ボランティアを派遣しています。平成24年12月までに、個人43人、10団体109人の合計152人が登録しました。小中学校内において、地域学習、学校行事、農業体験など多くの支援事業が展開されています。中学生の職場体験学習や職業人の話を聞く会では、延べ50の団体の協力を得て行っています。

子どもたちにとっては、地域の人々との交流により社会性や道徳性が育まれ、多様な価値観や文化に触れることができ、地域に対する愛着や誇りが芽生えます。

できる人が、  
できるときに、  
できることを。

協働による教育活動は、「子どもたちのために役立ちたい」「子どもたちの笑顔が見たい」という思いがあれば誰でも始められます。家庭や学校、地域（町民の皆さんや企業、地域コミュニティなど）、行政が子どもの健全育成に向けて目的を共有し、それぞれの特性と能力を生かして協力しましょう。

## 生涯学習課

☎ 55-2135

# 無限の希望を胸に

2013 成人式

カメラルポ

## 成人としての決意を古里で誓う

晴れの日を共に喜び  
新成人として共に喜び  
変わらぬ仲間がそばに歩む



### 新たに479人が 大人の仲間入り

「成人の日」は、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日として、昭和23年に制定されました。

柴田町では、1月13日に船岡中学校体育館で「成人式」が行われ、出席した新成人の新たな門出を祝いました。

今年、479人（男251人、女228人）が大人として仲間入りし、10時から始まった式典には、振り袖や羽織袴、スーツに身を包んだ晴れ着姿の新成人282人が出席。久しぶりの旧友との再会を果たし、共に成人式を迎えられたことに喜び合う光景が、会場のおちらこちらで見受けられました。

また、会場には新成人を祝おうと、花のまちイメージキャラクターはなみちゃんも駆けつけました。





①晴れ着姿で会場に向かう新成人／② 中学時代の恩師からのビデオレター上映／③ 奥州柴田一番太鼓「火炎太鼓」で新成人を祝う／④ 成人式の企画・運営に携わった実行委員会のメンバー／⑤ 成人を記念して万歳三唱

## 二十歳のメッセージ (一部抜粋)



新成人代表  
あづき  
櫻井 愛月さん

私は、社会人として約2年間働き、大人になることへの自覚を持つようになりました。

私には夢があります。以前、訪問介護の仕事をしていて、高齢者の方と向き合ってきました。高齢者の方と触れ合ううちに、成長していくための経験や知識を学ぶことが多く、とてもやりがいのある仕事だと気付きました。高齢化社会が進む中、介護士が少なく、十分なケアが出来ない現状を少しでも改善できるよう、また高齢者が幸せを感じるような介護士を目指して頑張りたいと思います。



新成人代表  
たかひこ  
伊藤 考彦さん

いよいよ私たちは大人として、新たな人生を歩んでいきます。早く立派な大人として自立し、社会に貢献する存在に成長していかなければなりません。

私たちは、まだ人間的に成熟しているわけではありません。まだ花を咲かせていない小さな芽であるからこそ、無限大の可能性があり、希望のある未来があります。

自分の人生に責任を持ち、私たちを温かく見守り、支えてくださった方々に恥じないように力強く成長していきたいと思えます。



柴田町長 滝口 茂

今月開かれる第1回定例会では、平成25年度の当初予算が審議されることとなります。

予算の編成にあ

たっては、「何を最優先課題として取り組むべきなのか」を、住民からの陳情や要望、町の懸案事項、さらには、将来を見据えた事業について、総合的に判断し、決定することになります。

平成25年度に重点的に取り組むべき政策は、やはり国と同じで「経済の再生」です。安倍新政権では、景気回復とデフレからの脱却を目指し、大胆な金融政策、大型の公共事業による財政政策、さらに、成長戦略による富の創生を掲げました。

お金を市場に大量に流すことで需要を喚起し、2%の物価目標を達成しようとするものです。

こうしたアベノミクス\*とも呼ばれる政策は、銀行にお金があぶつき、投資先が見つからないという「投資力不足」や海外とのコスト競争に太刀打ちできないという「競争力不足」、人口減少や高齢化社会の到来

## 地域経済の再生

による「消費不足」に対して効果はあるのでしょうか。また、公共事業のバラマキ、ハコモノ行政の復活との懸念も示されています。

今回の緊急経済対策は、単なるカンプル剤ではないかとの批判もありますが、地方自治体においては、大きな期待を寄せているところで

す。なぜなら、水害対策や道路、側溝、公園の整備をはじめ、柴田球場の改修や総合体育館、本格的な図書館の整備など、やらなければならぬ基礎的なインフラ整備が山積みしているからです。

国の補正予算が成立した後には、こうした政策をうまく活用して、町の発展に結び付けていくのが、私たち行政マンの腕の見せどころだと思っています。

地域経済の再生にとって公共事業の拡大は、まだまだ有効な経済政策の一つなのです。経済を支える基礎的なインフラを早急に整備し、ヒト・モノ・カネ・情報の交流を加速させ、柴田町の経済を成長軌道に乗せてまいります。

\*アベノミクスとは…安倍首相が掲げる経済政策のこと。安倍とエコノミクス（経済）を合わせた造語。米国のロナルド・レーガンの経済政策であるレーガノミクスにちなんで、呼ばれるようになった。

シリーズ 9

### 特産品「柴田の鉢花」で生活の中に彩りを

## 柴田鉢花研究会

関 農政課 ☎55-2122

## しばたの農産物 de 地産地消

### イベント情報

#### クリスマスローズ展示即売会

心をこめて生産したクリスマスローズを特別価格で販売します。

**日時** 2月2日(土)、3日(日)  
午前9時30分～午後4時

**場所** 柴田町観光物産交流館「さくらの里」(船岡城址公園内)

**販売価格** 1000円～5000円

鉢花の栽培技術の向上と農業の経営安定を目的に、生産農家9人で平成7年7月7日に設立しました。

現在、栽培技術の向上や消費者のニーズの把握、市場調査などに努めながら、会員も2人増え11人で母の日のカーネーション、夏場のポットマム(鉢菊)、12月のシクラメン、冬を彩るクリスマスローズのほか、花壇苗やゼラニウムなど年間20万鉢を生産し「柴田の鉢花」として全国に出荷しています。

季節ごとに地元の「旬の花」をお届けするため、柴田町観光物産交流館を会場に、5月の母の日に合わせて「カーネーションまつり」、9月には「ポットマムまつり」、12月は「シクラメンまつり」、2月は「クリスマス





# 柴田町図書館

からのお知らせ

みんなの図書館

2月の特集

## 「恋愛小説」を集めました

今年もバレンタインの季節がやってきました。

ずっと語り継がれる名作やちょっと大人の恋愛小説、読んで楽しいラブコメの傑作まで、バレンタインシーズンにおすすめの恋愛小説を特集してご紹介します。厳しい寒さの中、少し温まりたいときには、幸せな気分になれる小説世界に浸ってみませんか。

また、お菓子のレシピ本も一緒に展示します。普段は言えない愛や感謝の気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。

### 2月のお話し会

第1～4土曜日の開催です

日時／2月2日、9日、16日、23日の土曜日

11:00～12:00 ※事前の申し込みは必要ありません。

場所／柴田町図書館（ふるさと文化伝承館 1階奥の「集会室1」）

協力／絵本読み聞かせの会「おむすびころりん」

図書館サポート委員会「ひよこちゃん」ほか

☎ 柴田町図書館（しばたの郷土館・ふるさと文化伝承館内）

☎ 86-3820 FAX86-3821 Eメール :library@town.shibata.miyagi.jp

柴田町図書館「2月」の休館日  
※太字が休館日です

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

開館時間

平日 10:00～19:00

土・日曜日、祝日 10:00～17:00

ご利用をお待ちしています

### 「まちづくり出前講座」

町職員が皆さんの集会や会合に向向いて、町政について分かりやすくお話しする「まちづくり出前講座」を実施しています。

多彩なメニューをご用意していますので、ぜひ、ご利用ください。

申問 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告



# まちかど NEWS



町のイベントや文化財、花のまちについて紹介



おらほのラジオ体操で体をほぐす参加者

## 花のまち柴田へようこそ

NEWS

1月20日、柴田町地域福祉センターで、他市町村から町内へ避難して暮らしている方（約170家族）を対象に交流会が行われ、12家族17人が参加しました。この交流会は、初めて住むまちを知ってもらい、お互いに交流するきっかけになってほしいと、町と社会福祉協議会が企画したものです。当日は、観光やイベントを紹介したほか、生活での悩みなどの意見交換や軽い運動で交流を図りました。

## 百歳の「寿」～俳句を詠むのが得意～

NEWS

佐久間幸助さんは、北船岡に住んでいます。1月10日に100歳の誕生日を迎え、町長からお祝いのご褒が送られ長寿を祝いました。

俳句では町に大きな功績を残した佐久間さん。長寿の秘訣は1日30分の散歩と、毎日牛乳を飲むこと。100歳を迎えて、一句詠んでいただきました。

夢かとも

思ふ百寿と

言はれても



これからも元気に暮らしてください

告 白



## 安全安心の道しるべに



蛍光色の目立つプレート150枚が交付されました

12月26日に大河原警察署の佐藤署長から「こども110番の家」の新しいプレートが阿部教育長に交付されました。「子ども110番の家」は、子どもがトラブルに巻き込まれそうになった時に駆け込める場所を確保して、地域ぐるみで子どもたちを守る活動で平成10年度から始まりました。目印として玄関先などに掲げられるプレートは、年月の経過と共に文字が消えかけていたため再交付を受けました。

## 町の成長と発展を祈願して

新春交歓会が、1月7日に町内のホテルで開かれました。この交歓会は、町内各界の方々が一堂に集まり、新春のあいさつを交わす場として毎年行われています。会場では、町の美しい風景などの映像が上映されオープニングを飾りました。年頭のあいさつで滝口町長は「都市の基盤整備と観光まちづくりの2つの政策で柴田町を元気にしたい。共に柴田町の魅力を育てていきましょう」と述べました。



約400人が参加し、町政の発展を祈念しました



学習会には延べ16人が参加しました

## 受験に向けてラストスパート

町内の中学3年生を対象に1月4日から2日間、槻木生涯学習センターで志望校合格に向けた「冬季受験力アップ学習会」が、町教育委員会主催で行われました。参加者は、学習ボランティアの方から、英語と数学を課題に応じて丁寧な指導を受け、熱心に学習しました。この取り組みは、自主的な学習の場を提供して高校受験へ向けた意識啓発を目的に、毎年この時期に行われているものです。

広 告

広 告







# 夢空間 2013



はなちゃん (ペンネーム)



女王の番犬 (ペンネーム)

smile kids

お子さん (4歳まで) の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

## こども美術館



船岡小学校6年

鈴木桃愛さん



船岡小学校6年

遠藤正樹さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2013)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで2月14日(木)まで応募ください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広告

広告

